

第5回議会報告会を開催しました

4月22日・23日の両日、「第5回高梁市議会議会報告会+意見交換会」を開催しました。高梁、玉川、宇治、高倉、有漢、成羽坂本、川上、備中(平川)の8地域の会場で、延べ169人の参加がありました。

毎回、どんな形式がいいのか試行錯誤をしながら開催している議会報告会ですが、今回は地域の人たちから前向きな意見を出してもらおうという意図から「住みなれた地域で楽しく暮らしていくために」というテーマを設定し、意見交換会に重点を置いた内容となりました。

懸案事項の多い中、どの会場でも白熱した議論が交わされる場面もありました。いただいたご意見、ご提言は各担当委員会で議論した後、結果は議会の公式ホームページでお知らせしています。



玉川会場



成羽(坂本)会場



有漢会場



「ゆ・ら・ら」問題に 関する全員協議会を開催しました

(6月2日開催)

■報道発表について

議員 場外馬券場の白紙撤回について議会に報告がある前に新聞報道がされた。図書館の時には非公開で行った。議会軽視や市民無視があるのではないか。

執行部 図書館の時はケースが違う。今回は報道機関の取材に応じたことで議会軽視はしていない。

■業者が辞退するに至った経過について

議員 場外馬券場というギャンブル施設が高梁市にふさわしいかどうかが問われたと考えるが。

執行部 収入の確保と地域の活性化のために「ゆ・ら・ら」復活に向けて取り組んできた。

議員 1500筆の反対署名や8名の議員からの意見書が出るなど、市民や議員の反対は想定出来なかったのか。

執行部 競馬は公営事業であり、売却に向けて手続きを進めた。

■今後の方向性は?

議員 今後についてどう考えているのか。活用検討委員会を設立したらどうか。

執行部 現在は全てのこと白紙の状態である。

議員 業者の辞退は残念であったが、今後について、市の財政の負担にならないよう適切な判断を願う。

執行部 厳しい財政運営が続く中で引き続き努力していく。

議員 この地域のにぎわいをどうつくっていくのか、市民と考えたらどうか。

執行部 新たな活用方法を検討する中で、地元も含め大勢のご意見をいただきたい。

議会報告会に対する「意見」

○議会はがんばって存在意義を示してほしい。(市民の代表者だから)

○市民がもっと市政について関心を持たなくてはならないと思う。せっかくの報告会に出席者が少ないのが寂しい。

○身近なところで説明があると、知らなかったことが分かった。今後も行つてほしい。

○今回の報告会では議員が質問しているのか町民が質問しているのかわからない。よい返事は聞けなかった。

○女性の数が少なすぎる。

○高齢者増加に伴い、若い人の活動や意見が必要と思われる。

議員も40歳前後が必要と思われる。

○議会だよりで大体のことはわかるが、直接説明を聞いたほうがよく理解できる。

○1人の発言時間が長すぎる。論点を明確にした質問、回答を。発言を促し、議論の場になるようにしてほしい。

○どこの会場でも出席者が固定化しているように感じる。

○議会報告会というよりは、地域の人の意見を聞くことが重要。

○大変よいと思ったが、もう少しシャキッとしてほしい。

○こういった機会を小地区単位で開催していただけると少しは市政への関心が高まり、また意見を出しやすいのでは。議会を身近に感じることができ。これからの市政を担う人たちに関心を持ってもらうことが必要。

アンケートでみる議会報告会



10~20代 4%



延べ169人の参加者のうち141人から得た回答をもとに作成しています